

令和7年度山形県障がい者相談支援従事者研修(現任研修)

【獲得目標】		①個別相談支援の基本を理解し、それを基盤とした実践を行うことができる ②多職種連携及びチームアプローチの理論と方法を学び、実践することができる ③コミュニティワーク(地域とのつながりやインフォーマルサービスの活用、社会資源の開発等)の理論と方法を理解し、実践できる ④スーパービジョンの理論と方法を理解するとともに、相談支援実践においてスーパービジョンを取り入れる	
期日	時間	研修名及び内容	会場
6/13 (金)	9:00 ~ 9:20	受付	山形県立保健医療大学
	9:20 ~ 9:25	事務連絡	
	9:25 ~ 9:30	開講式	
	9:30 ~ 10:00	オリエンテーション・研修受講ガイダンス	
	10:00 ~ 17:00	障がい福祉の動向に関する講義 【講義1】障害者総合支援法及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解 障害者総合支援法等に関する最新の動向、障がい児者及びその家族等の地域生活を支援していくにあたって、関連する制度等を理解する。 相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 【講義2】地域を基盤としたソーシャルワークⅠ(意思決定支援に着目した個別相談支援) 【講義3】地域を基盤としたソーシャルワークⅡ(チームアプローチ) 【講義4】地域を基盤としたソーシャルワークⅢ(コミュニティワーク) 相談支援の基本姿勢等を再確認するとともに、個別の相談援助技術と地域援助技術の役割とそのつながりについて理解する。 人材育成の手法に関する講義 【講義5】実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法 相談支援専門員の人材育成方法としての経験から学ぶ省察的思考の重要性について理解する。 具体的な実施方法として実践研究及びスーパービジョンの理論と方法について理解する。	
	17:00 ~ 17:10	インターバル実習の説明	
	9:00 ~ 9:20	受付	
9:20 ~ 9:30	事務連絡		
9:30 ~ 17:00	個別相談支援とケアマネジメント【講義・演習】 本人を中心とした個別の相談支援の実践に必要な相談支援の技術について説明できる。 自身の個別の相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気付く。 個別の相談支援の実践例を振り返り、検討することで個別相談支援の能力の向上を図る。		
インターバル実習			
8/6 (水)	9:00 ~ 9:20	受付	同上
	9:20 ~ 9:30	事務連絡	
	9:30 ~ 17:00	相談援助に求められるチームアプローチ(多職種連携)【講義・演習】 他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る。	
インターバル実習			
9/10 (水)	9:00 ~ 9:20	受付	同上
	9:20 ~ 9:30	事務連絡	
	9:30 ~ 16:30	地域をつくる相談支援(コミュニティワーク)の実践【講義・演習】 地域をつくる相談支援の実践に必要な価値、知識、技術について理解を深める。 自身の地域をつくる相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気付く。 地域をつくる相談支援の実践例を活用し検討することで地域援助の能力を獲得する。	
	16:30 ~ 16:50	研修のまとめ	
	16:50 ~ 17:00	閉講式	